



さいじょうし  
西条市

〒793-8601  
西条市明屋敷164番地

電話  
番号 (0897)  
56-5151

地域  
指定 山振 辺地(2) 特農 農振  
国定公園 国立公園

FAX (0897)  
52-1200  
(総務課)

〈沿革〉

平16.11. 1 市制施行  
(西条市・東予市・丹原町・小松町 合併)

〈市町のあらまし〉

西条市は、愛媛県の東部、道前平野に広がる地域であり、瀬戸内海(燧灘)に面し、北西は今治市、西は東温市、南は久万高原町、高知県の町、東は新居浜市と接している。

西日本最高峰の石鎚山(標高1,982m)を中心とする石鎚連峰を背景に、南部一帯及び西部は急峻な山岳地帯となっている。それ以外の地域は、比較的ゆるやかな平坦部となっており、市街地が集積するとともに、県下有数の農業地域となっている。

また、山岳部を源流とする中山川、加茂川等の主要な河川が圏域内を流れており、豊かな水資源を供給している。

〈由来〉

平成16年11月1日に西条市、東予市、丹原町、小松町が合併し、新しい西条市が誕生した。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭53年度		
平25年度	増築	新 館

〈行政組織〉

(平成27.4.1現在)

区 分	名 前	任 期
市 長	青野 勝 <small>あおの かつ</small>	平成28.11.27
副市長	真鍋 和年	平成29. 3.26

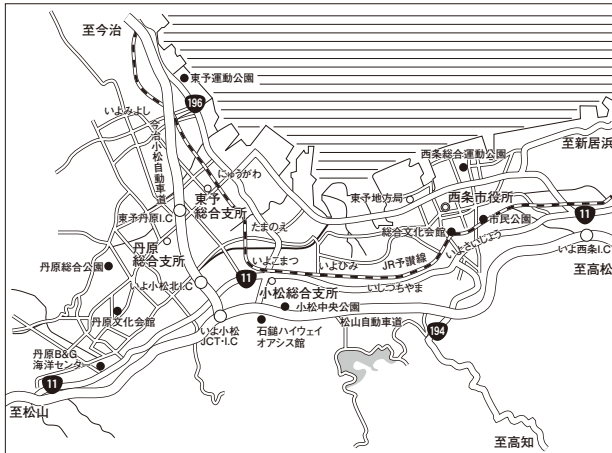
議 会 (平成27.4.1現在)

議長	一色 輝雄	副議長	西坂 壽
議員 (条例定数)	30人		
(現 員)	28人		
任期	平成29. 2.23		

職員数 (平成27.4.1現在)

普通会計	888人
企業会計	44人
その他会計	42人
計	974人

〈地 図〉



(交通機関) JR伊予西条駅から徒歩20分又は車で5分

〈人口・世帯数〉

( )は増減率

区 分	60国調	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	27.1.1住基
人 口	(2.7%) 115,983	(△0.6%) 115,251	(△0.5%) 114,706	(△0.1%) 114,548	(△1.0%) 113,371	(△1.1%) 112,091	112,959
男	55,383	54,914	54,752	54,662	54,144	53,757	54,280
女	60,600	60,337	59,954	59,886	59,227	58,334	58,679
世帯数	35,276	36,681	38,929	41,298	43,102	44,630	49,764

年齢構成 (平22国調)

選挙人名簿  
登録者数 (平27.9.2現在)

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上	男	女	計
人 口	15,294 人	66,403 人	30,076 人	43,402 人	48,369 人	91,771 人
構成比	13.7 %	59.4 %	26.9 %			

〈土地利用〉

(平22.2.1現在) (ha. %)

総面積 平26.10.1(km)	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 平25.1.1	
			田	畑	樹園地		
509.98	35,450	69.6	4,953	4,269	216	468	11.7

〈産 業〉 産業構造

(百万円・人)

区 分	総生産額(平24年度)		就業人口(平22国調)	
第1次	8,443	2.1 %	4,240	8.2 %
第2次	153,801	38.2 %	16,891	32.7 %
第3次	240,713	59.7 %	29,559	57.1 %
計	402,957	100.0 %	51,722	100.0 %

(注)「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業 (平25年)

(百万円)

所得 (平24年度)

品 名	製造品出荷額等	1人当たり 市町民所得	千円
非鉄金属	417,529	2,876	
鉄鋼	103,403		

平成26年度の主な建設事業

(百万円)

今後の主な建設事業

(百万円)

事業名	事業費	事業名	事業費
公共下水道事業	977	公共下水道事業	9,387
まちづくり基盤整備事業	873	ひうちクリーンセンター整備事業	2,472
庁舎(新館等)整備事業	535	庁舎(新館等)整備事業	514
消防緊急通信指令システム整備事業	524	楠浜北条線道路改良事業	1,951
玉津小学校校舎等整備事業	463	小型船だまり建設事業	1,250
古川玉津橋線道路改良事業	407	古川玉津橋線道路改良事業	880
国体関係施設整備事業	393	国体関係施設整備事業	541
小中学校校舎等耐震改修事業	352	小中学校校舎等耐震改修事業	184
西条第1(東)防波堤建設事業	302	西条第1(東)防波堤建設事業	398
喜多川朔日市線改良事業	258	喜多川朔日市線改良事業	2,000

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡 観光施設	石鐘連峰 石鐘スキー場 武丈公園 王至森寺のキンモクセイ(国指定天然記念物) 保国寺庭園(国指定名勝) 西条市立郷土博物館 愛媛民芸館 市民の森 観音堂のふじ(県指定天然記念物) アクアトピア うちぬき 天満神社の楠(県指定天然記念物) アサヒビール四国工場-ビール園 四国コカ-コーラボトリング 花王サニタリープラダクツ(愛媛 西条市考古歴史館 観念寺 長福寺梵鐘 世田山遊歩道 休暇村瀬戸内東予 本谷温泉 桜(ひょうたん池、吉田河原、実報寺) 藤(藤森神社) 道前溪谷 鞍瀬谷 堂々森 生木地藏 桜三里 西山興隆寺 久妙寺香園寺 横峰寺 宝寿寺 吉祥寺 前神寺 千本ぼたん(法安寺) 近藤篤山旧邸 舟山古墳群 石鐘山ハイウェイオアシス館 樅交流館 水納山城跡(国指定史跡) 鉄道歴史パークinSAIJO
祭り 催し物	梅まつり(3月上旬) 武丈観桜行事(4月1日～15日) 石鐘ふれあいの里山菜まつり(4月下旬) 産業文化フェスティバル(4月29日) 石鐘山お山開き(7月1日～10日) 西条市おかげん祭市民花火大会(旧暦6月17日) 市民納涼花火大会(8月17日) いもたき(8月中旬～10月上旬) 夏彩祭(8月中旬) 東予秋祭り統一運行(10月:体育の日の前々日) 西条まつり(10月:体育の日の前々日・前日、14日～17日) 丹原七夕夏まつり(8月5日～7日) 田滝地区おれん踊り(8月15日) 警根神社毛槍投奴(10月第3日曜日) 綾延神社道中奴(10月第3土曜日・第3日曜日) 西山興隆寺もみじ祭り(11月中旬～下旬) 小松町ふるさと祭り(7月下旬) 丹原統一かきくべ(10月15日) 小松だんじり統一寄せ(10月16日) 法泰奉納大会(11月3日) スノーカーニバルin石鐘(12月下旬)
公営 宿泊施設	石鐘ふれあいの里 休暇村瀬戸内東予 本谷温泉

〈名物・特産品〉

米 はだか麦 絹かわなす 七草 アスパラガス 里芋 ほうれん草 きゅうり 柿 梅 キウイフルーツ  
アムスメロン いちご パラ デルフィニウム 海苔 青のり ワタリガニ 天狗黒茶 地酒 手すき和紙

〈主な公共施設〉

総合文化会館 丹原文化会館 西条郷土博物館 東予郷土館 考古歴史館 佐伯記念館・郷土資料館 丹原ふるさと歴史館 こどもの国 西条図書館 東予図書館 小松温芳図書館 丹原図書館 隣保館(4) 公民館(29) 中学校(10) 小学校(26) 公立幼稚園(6) 公立保育所(11) 児童館(4) 総合福祉センター 東予総合福祉センター 丹原福祉センター 小松地域福祉センター 地域交流センター(4) 創作の家 丹原高齢者生活福祉センター 小松生きがいデイサービスセンター 周桑病院 保健センター(4) 道前クリーンセンター ひうちクリーンセンター やすらぎ苑 体育館(6) ビバスポルティオSAIJO 格技場(3) プール(3) 多目的広場(11) 野球場(2) テニスコート(6) 石鐘ふれあいの里 本谷温泉館 石鐘山ハイウェイオアシス館 樅交流館 産業情報支援センター 食の創造館 農村環境改善センター(3) 丹原農村婦人の家 観光交流センター 四国鉄道文化館(2) 十河信二記念館 スポーツコミュニティセンター ウイングサポートセンター(2) 休日夜間急患センター 五百亀記念館

〈主要課題〉

1. 健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり  
(健康づくりの推進、福祉の充実(高齢者福祉、地域福祉)、子育て環境の充実、医療体制の充実)
2. 豊かな自然と共生するまちづくり  
(自然環境の保全、水資源の保全、生活環境の整備、環境資源を活かした地域づくり、上下水道の整備(水道、下水道))
3. 快適な都市基盤のまちづくり  
(交通体系の整備、市街地整備、港湾・河川の整備、公園・緑地の整備、住宅・宅地の整備)
4. 災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり  
(防災・減災対策の強化(防災体制、消防・救急救助体制)、防犯対策の推進、交通安全対策の推進)
5. 豊かな心を育む教育文化のまちづくり  
(学校教育の充実、地域文化の継承・形成、歴史文化の保全・活用、社会教育の充実、人権・同和教育の推進)
6. 活力あふれる産業振興のまちづくり  
(農業の振興、林業の振興、水産業の振興、企業活動の活性化(ものづくり)産業の振興、商業の振興、新規産業の創出、観光産業の創出、産業人材・雇用環境、西条の価値や魅力の向上(まちのブランド化))

〈地域づくりの事業等〉

西条市では、全ての人が住み慣れた地域の中で支え合い、安心して生き生きと暮らすことができる最上の福祉、最上の教育、そして最上のまちづくりをめざし、「創ろろ 最上のまち 西条を!」をまちづくりのスローガンに掲げ、従来の事業に加えて以下の事業を実施し、「人がつとよい、まちが輝く、快適環境実感都市」を目指す。

**健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり**

◆**子育て環境の充実**

市内全放課後児童クラブにおいて小学校6年生までの利用拡大を新たに実施し、安心して子育てができる環境づくりに取り組む。

**豊かな自然と共生するまちづくり**

◆**環境資源を活かした地域づくり**

住宅用太陽光発電システムに加え、新たに省エネルギー機器の設置に対しても助成を行うこととし、環境負荷の少ない地域社会の形成を目指す。

快適な都市基盤のまちづくり

◆交通体系の整備

既存のバスルートや運行形態、時間の見直しを図るなど移動実態に見合う公共交通ネットワークの再構築に取り組み、市民満足度の高い地域公共交通の実現を目指す。

災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり

◆防災・減災対策の強化

各自治会の集会所等の放送設備240箇所と市の広報装置を無線で接続させるIP告知放送システムの整備工事を施工し、市域全体で迅速かつ一斉に情報を提供できる環境を整え、防災連絡体制の一層の強化に繋げる。

豊かな心を育む教育文化のまちづくり

◆学校教育の充実

市内全小中学校に電子黒板等によるICT教育を展開し、質の高い教育を実現させながら、子供たちの学力向上はもとより教員の事務負担を軽減させ、子供たちと向き合う時間の確保を図る。

活力あふれる産業振興のまちづくり

◆観光産業の創出

平成27年11月1日に指定60周年を迎える石鎚国立公園を記念し、「食・癒し」をテーマに石鎚関連のイベントや写真コンテスト等を行い、守り継がれてきた石鎚の自然や魅力を内外に発信して地域振興に努める。

〈市町が出資している地方公社の設立状況〉

(平成27. 4. 1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主 な 事 業 内 容
(特)	西条市土地開発公社	昭48. 2. 1	5,000 (100)	公共用地等の取得、管理、処分等
(株)	西条産業情報支援センター	平11. 9.17	15,000 (66.7)	新規創業支援・既存企業新分野進出支援等
(公財)	西条市体育協会	平 3. 3.18	80,000 (31.2)	スポーツの普及促進
(公財)	佐伯記念育英会	昭56. 1.16	250,000 (100)	奨学事業

〈総合計画〉

基 本 構 想		基 本 計 画	
計 画 の 名 称	議決年月日	期 間	期 間
第2期西条市総合計画	平26.12.19	平27～平36年	平27～平31年

〈行政機構〉

(平成27.4.1現在)

市 長	副市長	総務部	総務課・職員課・秘書課・IT振興課
		企画情報部	総合政策課・地域創生室・広報広聴課・行政改革推進課
		市民安全部	危機管理課・危機管理課西部分室・市民生活課
		財務部	契約課・工事検査課・財政課・市民税課・資産税課・納税課
		保健福祉部	社会福祉課・子育て支援課・高齢介護課・健康医療推進課
		生活環境部	スポーツ健康課・国体推進課・国保医療課
			環境衛生課・下水道業務課・下水道工務課・水道業務課
			水道工務課
		産業経済部	産業振興課・観光物産課
		農林水産部	農業水産課・林業振興課・農林土木課・農林土木課西部分室
		建設部	国土調査課
			建設道路課・港湾河川課・都市計画整備課・建築審査課・用地課
		施設管理部	施設管理課
		東予総合支所	総務課・市民福祉課・農林水産課・建設管理課
丹原総合支所	総務課・市民福祉課・農林水産課・建設管理課		
小松総合支所	総務課・市民福祉課・農林水産課・建設管理課		
会計管理者	出納室・出納東予分室・出納丹原分室・出納小松分室		
消 防	総務課・警防課・予防課・通信指令課・東消防署・西消防署		
教育委員会	教育長	教育総務課・社会教育課・人権教育課・教委西部分室	
議 会	管理指導部	学校教育課	
	議 事 務 局	議事課	
	農 業 委 員 会	農業事務局・農委東予分室・農委丹原分室・農委小松分室	
	選 挙 管 理 委 員 会	選挙事務局・選管東予分室・選管丹原分室・選管小松分室	
	監 査 委 員 会	監査委員事務局	
公平委員会			
固定資産評価審査委員会			